

令和6年度 名古屋二大庭園クイズラリー

徳川園問題

第一問

問題

徳川園は平成16年に再整備され、池泉回遊式庭園が開園しましたが、現在龍仙湖があるところは整備前どのような施設だったでしょうか？

- ① 野球場
- ② プール
- ③ 図書館

答え

- ①

解説

昭和6年(1931年)、尾張徳川家十九代当主義親から邸宅と庭園の寄付を受けた名古屋市は整備改修を行い、翌年「徳川園」として一般公開されました。第二次世界大戦の大空襲により園内の大部分が焼失された後、昭和25年(1950年)野球場やプールなどが整備された現代的な都市公園として改修されました。平成16年(2004年)秋に日本庭園としてリニューアルする際に野球場があった場所に龍仙湖、プールがあった場所に児童園が整備されました。



第二問

問題

龍仙湖の名前の「龍」の意は名古屋城の二代目殿様の「送り名」である「瑞龍院」から来ています。

その殿様は誰でしょうか？

- ① 徳川宗春
- ② 徳川光友
- ③ 徳川家康

答え

- ②

解説

徳川園は尾張藩第二代藩主光友が自らの隠居所として大曾根屋敷を建設したことを起源としています。平成 16 年秋に一般的な公園から日本庭園としてリニューアルした際に造成した大きな池は徳川光友の諡(おくりな)「瑞龍院」の「龍」の字をとり龍仙湖と名付けられました。(龍仙湖は水量 3,500 m³、平均水深 80 cm 最深部 150 cm)